

事業概要シート

施策 0602 高齢者の生きがいくりと介護予防の推進 <<の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	訪問指導事業	現状維持	予算額	3,877 千円
			<< 3,538 >> 千円	
事業期間	平成18年度 ~	財源内訳	国庫支出金	953 千円
根拠法令要綱等	介護保険法、地域支援事業実施要綱		県支出金	477 千円
			地方債	0 千円
			その他	1,094 千円
			一般財源	1,353 千円

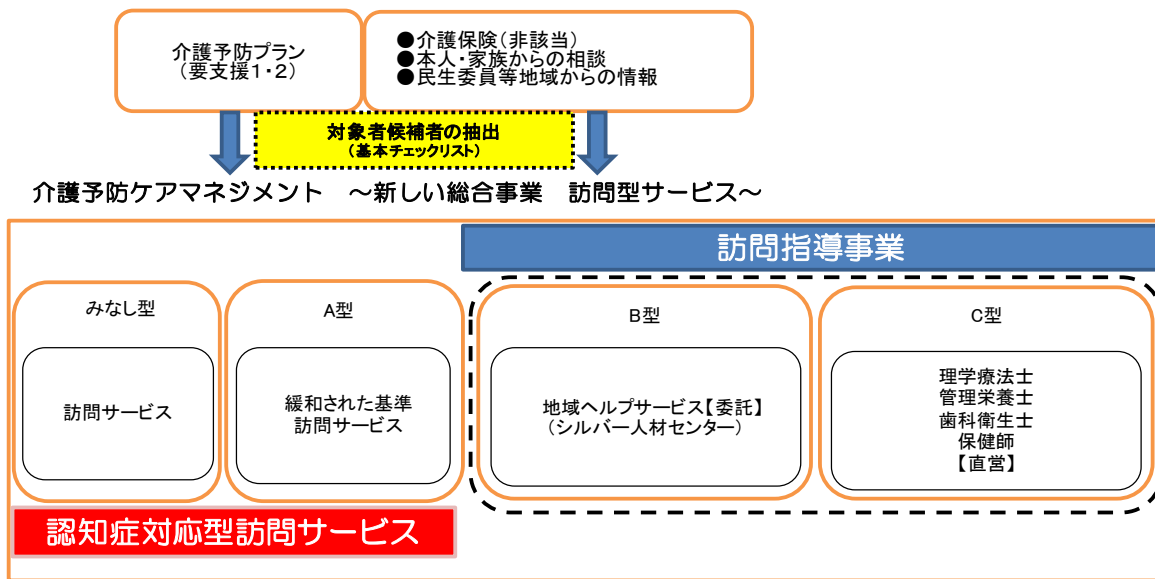
【事業の目的・概要・対象】

◆事業の目的
 平成27年度からの介護保険法改正により、従来の地域支援事業の中に介護予防・日常生活支援総合事業が創設した。総合事業の訪問型・通所型サービスを整備し、高齢者の介護予防を図るとともに、介護予防に資する社会資源となる住民主体活動を育成する。

◆事業の概要
 ①要支援1・2の認定者及び総合事業対象者を対象に、歯科衛生士・保健師の専門職等が訪問し、介護予防のための保健指導や必要に応じて医療や必要な社会資源につなぐ。
 ②シルバー人材センターに介護保険の訪問介護の範囲外の生活支援を委託する。

◆対象
 要支援1, 又は2、総合事業対象者（チェックリスト該当者）

【介護予防・日常生活支援総合事業】



【背景】

要支援の認定者数は増加傾向にあり、介護度別の認定者数では、要支援1の認定者数の伸びが著しく、今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年には約1.9倍に達すると見込まれている。今後ますます、総合事業における高齢者の介護予防に資するサービス整備等が重要となる。

担当課	福祉保健部長寿介護課	課長	角野 章子
担当者	井手 聡美	問合せ先	0957-53 - 8141 (内線201)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	訪問実施者実人数	人	367	403	452	452	452
②							

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	機能改善した人の数	人	28	25	25	25	25
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	6,447	5,333	3,538	3,877	3,877	3,877	26,949
国庫支出金	1,443	1,209	812	953	953	953	6,323
県支出金	703	580	406	477	477	477	3,120
地方債							0
その他	2,394	1,939	885	1,094	1,094	1,094	8,500
一般財源	1,907	1,605	1,435	1,353	1,353	1,353	9,006
人件費	2,023	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	7,477
職員(人)	0.27人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	1.02人
時間外勤務(h)	30h						30h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	8,470	6,424	4,629	4,968	4,968	4,968	34,426

妥当性 (市の関与)	平成27年度より開始した介護予防・日常生活支援総合事業は各保険者が実施するものであり、市が実施することが妥当である。
有効性 (施策貢献度)	訪問指導により、健康面の保健指導を行うことにより健康状態の改善がみられるなど、健康増進と介護予防の効果は高い。また、在宅高齢者の日常生活における自立度を高めることで、健康増進と介護予防の向上が図られる。
効率性 (コスト)	専門職を配置し介護予防を強化する中において、他事業に配置している専門職と協同し事業を遂行するなど効率的に実施しており、コスト削減の余地はない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり